



扇精光コンサルタンツ 代表取締役社長
安部 清美 氏

インフラの「町医者」で社会貢献

1957年7月の諫早大水害をきっかけに、扇道徳会長（故人）が当時の勤め先から独立。58年、復興が必要とされる測量機材を販売する「扇測量器店」を創業しました。63年には「扇精光」を設立。2014年に「扇精光コンサルタンツ」に社名変更いたしました。現在は道路や河川、橋などの設計や測量のほか、文化財調査なども手掛けています。強みは最先端の「地上型レーザースキャナ」や「UAV（ドローン）スキャナ」で、地上と空中から現場を丸ごとデータ化し、迅速・正確な地理空間情報を提供できることです。測量、設計、補償、維持管理、GIS（地理情報システム）と幅広い分野に対応できる技術力を生かし、長崎自動車道の武雄JCTのり面の崩落、熊本地震、九州北部豪雨で被災した福岡県朝倉市の復興支援などにも貢献しています。昨年7月には朝倉市の砂防工事事業に尽力したとして、国土交通省九州地方整備局から表彰を受けました。

民間大手企業や地元大学との連携強化で、新たなビジネスモデルの構築に取り組むと同時に、働き



レーザースキャナを搭載したドローン

方改革も進めています。情報通信技術（ICT）や人工知能（AI）などを活用したり、業務の一部に外部資源を活用するなど効率化に努め、生産性と顧客満足度を高めたいと考えています。過去に整備したインフラの老朽化が進む中、町医者的な役割での維持管理も欠かせません。これからも都市計画や社会インフラの整備、維持管理を通して安心・安全なまちづくりに貢献するとともに、次世代につなぐ技術の継承に努めたいです。

出身校	中央工学校
好きな言葉	誠実な人 / 人と接する際は真心を持って対応する。そうありたいと精進している
趣味	ソフトボールとゴルフ / 毎週日曜日は地域の方々とソフトボールで汗を流している

扇精光コンサルタンツ株式会社
 OUGISEIKO CONSULTANTS Co., Ltd.

扇精光コンサルタンツ株式会社
 長崎市田中町585-4
 TEL(095)839-2114

